

## 6 一般会計

### (1) 決算収支状況

一般会計における決算収支の状況は、次表のとおりである。

一般会計決算収支状況表

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	前年度 対比(%)
予 算 現 額 A		138,694,221,394	155,795,885,739	△ 17,101,664,345	89.0
歳入	決 算 額 B	130,181,639,660	146,559,788,180	△ 16,378,148,520	88.8
	執 行 率 B/A	93.9%	94.1%	△0.2P	-
歳出	決 算 額 C	125,452,494,297	143,559,609,252	△ 18,107,114,955	87.4
	執 行 率 C/A	90.5%	92.1%	△1.6P	-
歳入歳出差引額(形式収支) D:B-C		4,729,145,363	3,000,178,928	1,728,966,435	157.6
翌年度へ繰り越すべき財源 E		410,276,929	526,474,977	△ 116,198,048	77.9
実 質 収 支 D-E		4,318,868,434	2,473,703,951	1,845,164,483	174.6

当年度は、予算現額 1,386 億 9,422 万 1,394 円に対し、歳入決算額が 1,301 億 8,163 万 9,660 円、歳出決算額が 1,254 億 5,249 万 4,297 円で、歳入歳出差引額(形式収支)は 47 億 2,914 万 5,363 円であり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源 4 億 1,027 万 6,929 円を差し引いた実質収支は 43 億 1,886 万 8,434 円の黒字となっている。

前年度と比較し、歳入は 163 億 7,814 万 8,520 円(△ 11.2%)、歳出は 181 億 711 万 4,955 円(△ 12.6%)それぞれ減少している。また、歳入歳出差引額(形式収支)は 17 億 2,896 万 6,435 円(57.6%)増加している。翌年度へ繰り越すべき財源は 1 億 1,619 万 8,048 円(△ 22.1%)減少している。

なお、当年度実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は 18 億 4,516 万 4,483 円の黒字となっている。

(2) 歳入

ア 歳入決算の概況

歳入の決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	前年度 対比(%)
予 算 現 額 A	138,694,221,394	155,795,885,739	△ 17,101,664,345	89.0
調 定 額 B	132,370,192,802	149,197,916,912	△ 16,827,724,110	88.7
収 入 済 額 C	130,181,639,660	146,559,788,180	△ 16,378,148,520	88.8
不 納 欠 損 額	137,511,627	140,721,622	△ 3,209,995	97.7
収 入 未 済 額	2,060,108,489	2,514,813,298	△ 454,704,809	81.9
執 行 率 C/A	93.9%	94.1%	△0.2P	-
収 入 率 C/B	98.3%	98.2%	0.1P	-

予算現額に対する収入済額の割合（執行率）は 93.9%で、前年度と比較し 0.2 ポイント低下し、調定額に対する収入済額の割合（収入率）は 98.3%で、前年度と比較すると 0.1 ポイント上昇している。

次に、不納欠損額は 1 億 3,751 万 1,627 円で、前年度と比較し 320 万 9,995 円（△ 2.3%）減少し、収入未済額は 20 億 6,010 万 8,489 円で、前年度と比較し 4 億 5,470 万 4,809 円（△ 18.1%）減少している。

款別の歳入決算額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

款別歳入決算年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	前年度 対比(%)
	収入済額	構成比 (%)	収入済額	構成比 (%)		
市 税	32,425,366,486	24.9	32,488,143,395	22.2	△ 62,776,909	99.8
地方譲与税	838,078,336	0.6	826,086,168	0.6	11,992,168	101.5
利子割交付金	45,582,000	0.0	55,922,000	0.0	△ 10,340,000	81.5
配当割交付金	181,290,000	0.1	121,570,000	0.1	59,720,000	149.1
株式等譲渡所得割 交付金	210,659,000	0.2	137,176,000	0.1	73,483,000	153.6
法人事業税交付金	519,352,000	0.4	268,522,000	0.2	250,830,000	193.4
地方消費税交付金	6,040,334,000	4.6	5,579,520,000	3.8	460,814,000	108.3
ゴルフ場利用税 交付金	46,265,187	0.0	38,431,941	0.0	7,833,246	120.4
環境性能割 交付金	72,523,000	0.1	78,083,000	0.1	△ 5,560,000	92.9
国有提供施設等 所在市助成交付金	72,319,000	0.1	73,951,000	0.1	△ 1,632,000	97.8
地方特例交付金	653,528,000	0.5	251,204,000	0.2	402,324,000	260.2
地方交付税	28,320,906,000	21.8	25,848,963,000	17.6	2,471,943,000	109.6
交通安全対策 特別交付金	36,913,000	0.0	41,300,000	0.0	△ 4,387,000	89.4
分担金及び負担金	558,264,197	0.4	568,322,601	0.4	△ 10,058,404	98.2
使用料及び手数料	3,175,368,449	2.4	3,051,751,211	2.1	123,617,238	104.1
国庫支出金	29,923,490,481	23.0	47,302,305,920	32.3	△ 17,378,815,439	63.3
県 支 出 金	8,833,389,679	6.8	8,186,565,861	5.6	646,823,818	107.9
財 産 収 入	253,662,976	0.2	268,664,631	0.2	△ 15,001,655	94.4
寄 附 金	543,791,163	0.4	571,610,615	0.4	△ 27,819,452	95.1
繰 入 金	852,281,235	0.7	3,435,300,000	2.3	△ 2,583,018,765	24.8
繰 越 金	3,000,178,928	2.3	2,427,748,588	1.7	572,430,340	123.6
諸 収 入	5,117,328,543	3.9	5,672,617,249	3.9	△ 555,288,706	90.2
市 債	8,460,768,000	6.5	9,266,029,000	6.3	△ 805,261,000	91.3
合 計	130,181,639,660	100.0	146,559,788,180	100.0	△ 16,378,148,520	88.8

当年度の歳入決算額は 1,301 億 8,163 万 9,660 円で、前年度と比較し 163 億 7,814 万 8,520 円 (△ 11.2%) 減少している。

歳入決算額の構成をみると、市税が 324 億 2,536 万 6,486 円 (構成比 24.9%) で最も多く、次いで国庫支出金が 299 億 2,349 万 481 円 (構成比 23.0%)、地方交付税が 283 億 2,090

万6,000円（構成比21.8%）、県支出金が88億3,338万9,679円（構成比6.8%）、市債が84億6,076万8,000円（構成比6.5%）などとなっている。

次に、前年度と比較し収入済額が増加した主な款及び増加額は、地方交付税24億7,194万3,000円（9.6%）、県支出金6億4,682万3,818円（7.9%）、繰越金5億7,243万340円（23.6%）である。

また、減少した主な款及び減少額は、国庫支出金173億7,881万5,439円（△36.7%）、繰入金25億8,301万8,765円（△75.2%）、市債8億526万1,000円（△8.7%）である。

次に、款別の収入未済額及び不納欠損額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

款別収入未済額年度比較表

（単位：円）

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	前年度 対比(%)
	収入未済額	収入未済 率(%)	収入未済額	収入未済 率(%)		
市 税	670,218,107	2.0	1,079,037,506	3.2	△ 408,819,399	62.1
分担金及び負担金	32,280,854	5.4	41,400,371	6.7	△ 9,119,517	78.0
使用料及び手数料	652,018,287	17.0	659,761,666	17.7	△ 7,743,379	98.8
財 産 収 入	47,310,724	15.7	49,662,639	15.3	△ 2,351,915	95.3
諸 収 入	658,280,517	11.3	684,951,116	10.7	△ 26,670,599	96.1
合 計	2,060,108,489	1.6	2,514,813,298	1.7	△ 454,704,809	81.9

注 収入未済率は、款ごとの調定額に対する収入未済額の割合。合計については、調定総額に対する収入未済額の割合。

款別不納欠損額年度比較表

（単位：円）

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	前年度 対比(%)
	不納欠損額	不納欠損 率(%)	不納欠損額	不納欠損 率(%)		
市 税	98,478,386	0.3	82,401,655	0.2	16,076,731	119.5
分担金及び負担金	4,631,490	0.8	4,457,019	0.7	174,471	103.9
使用料及び手数料	2,018,224	0.1	21,259,046	0.6	△ 19,240,822	9.5
財 産 収 入			5,365,917	1.7	△ 5,365,917	皆減
諸 収 入	32,383,527	0.6	27,237,985	0.4	5,145,542	118.9
合 計	137,511,627	0.1	140,721,622	0.1	△ 3,209,995	97.7

注 不納欠損率は、款ごとの調定額に対する不納欠損額の割合。合計については、調定総額に対する不納欠損額の割合。

イ 款別歳入決算状況

款別の歳入決算状況は、次のとおりである。

第1款 市税

(ア) 収入状況

当年度の市税の収入状況は、次表のとおりである。

市税の収入状況表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	調定額	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	執行率 B/A(%)		
市 民 税	14,106,410,000	14,751,355,582	14,367,452,711	101.9	52,439,519	337,543,492
現年課税分	13,948,189,000	14,346,685,044	14,252,815,049	102.2	1,150,974	98,778,661
滞納繰越分	158,221,000	404,670,538	114,637,662	72.5	51,288,545	238,764,831
固定資産税	14,057,178,000	14,350,879,481	14,054,167,228	100.0	36,998,140	261,904,261
現年課税分	13,707,856,000	13,811,733,004	13,714,852,464	100.1	6,867,019	91,439,865
滞納繰越分	349,322,000	539,146,477	339,314,764	97.1	30,131,121	170,464,396
軽自動車税	762,697,000	811,385,458	769,989,323	101.0	4,857,588	36,813,681
現年課税分	753,022,000	772,378,800	761,011,943	101.1	54,600	11,549,957
滞納繰越分	9,675,000	39,006,658	8,977,380	92.8	4,802,988	25,263,724
市たばこ税	1,750,016,000	1,787,313,913	1,787,277,181	102.1		36,732
現年課税分	1,750,016,000	1,787,277,181	1,787,277,181	102.1		
滞納繰越分		36,732				36,732
特別土地保有税	411,000	6,969,026	370,967	90.3		6,598,059
滞納繰越分	411,000	6,969,026	370,967	90.3		6,598,059
入 湯 税	26,823,000	26,835,480	26,506,350	98.8	310,380	18,750
現年課税分	26,776,000	26,525,100	26,506,350	99.0		18,750
滞納繰越分	47,000	310,380		0.0	310,380	
都市計画税	1,434,624,000	1,450,552,045	1,419,602,726	99.0	3,872,759	27,303,132
現年課税分	1,389,272,000	1,393,465,532	1,383,584,489	99.6	700,381	9,326,138
滞納繰越分	45,352,000	57,086,513	36,018,237	79.4	3,172,378	17,976,994
合 計	32,138,159,000	33,185,290,985	32,425,366,486	100.9	98,478,386	670,218,107
現年課税分計	31,575,131,000	32,138,064,661	31,926,047,476	101.1	8,772,974	211,113,371
滞納繰越分計	563,028,000	1,047,226,324	499,319,010	88.7	89,705,412	459,104,736

市税収入全体でみると、収入済額は 324 億 2,536 万 6,486 円で、予算現額 321 億 3,815 万 9,000 円に対する執行率は 100.9%となり、調定額 331 億 8,529 万 985 円に対する収入率は 97.7%となっている。また、不納欠損額は 9,847 万 8,386 円、収入未済額は 6 億 7,021 万 8,107 円である。なお、歳入決算額全体に占める市税の割合は 24.9%となっている。

市税収入の収入済額の内訳をみると、市民税が 143 億 6,745 万 2,711 円（構成比 44.3%）と最も多く、次いで固定資産税が 140 億 5,416 万 7,228 円（構成比 43.3%）、市たばこ税が 17 億 8,727 万 7,181 円（構成比 5.5%）、都市計画税が 14 億 1,960 万 2,726 円（構成比 4.4%）などとなっている。

次に、税目別の収入済額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

収入済額年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度			令和2年度			比較増減	前年度 対比(%)
	収 入 済 額	収入率 (%)	構成比 (%)	収 入 済 額	収入率 (%)	構成比 (%)		
市 民 税	14,367,452,711	97.4	44.3	14,586,582,563	97.1	44.9	△ 219,129,852	98.5
現年課税分	14,252,815,049	99.3	44.0	14,493,329,532	98.9	44.6	△ 240,514,483	98.3
滞納繰越分	114,637,662	28.3	0.4	93,253,031	25.7	0.3	21,384,631	122.9
固定資産税	14,054,167,228	97.9	43.3	14,018,170,334	96.0	43.1	35,996,894	100.3
現年課税分	13,714,852,464	99.3	42.3	13,936,850,008	97.4	42.9	△ 221,997,544	98.4
滞納繰越分	339,314,764	62.9	1.0	81,320,326	27.9	0.3	257,994,438	417.3
軽自動車税	769,989,323	94.9	2.4	751,732,938	94.0	2.3	18,256,385	102.4
現年課税分	761,011,943	98.5	2.3	739,015,082	98.4	2.3	21,996,861	103.0
滞納繰越分	8,977,380	23.0	0.0	12,717,856	26.3	0.0	△ 3,740,476	70.6
市たばこ税	1,787,277,181	100.0	5.5	1,695,865,972	100.0	5.2	91,411,209	105.4
現年課税分	1,787,277,181	100.0	5.5	1,695,865,972	100.0	5.2	91,411,209	105.4
特別土地保有税	370,967	5.3	0.0	448,083	6.0	0.0	△ 77,116	82.8
滞納繰越分	370,967	5.3	0.0	448,083	6.0	0.0	△ 77,116	82.8
入 湯 税	26,506,350	98.8	0.1	20,055,150	98.5	0.1	6,451,200	132.2
現年課税分	26,506,350	99.9	0.1	20,000,100	100.0	0.1	6,506,250	132.5
滞納繰越分				55,050	15.1	0.0	△ 55,050	皆減
都市計画税	1,419,602,726	97.9	4.4	1,415,288,355	95.7	4.4	4,314,371	100.3
現年課税分	1,383,584,489	99.3	4.3	1,405,847,393	97.3	4.3	△ 22,262,904	98.4
滞納繰越分	36,018,237	63.1	0.1	9,440,962	28.0	0.0	26,577,275	381.5
合 計	32,425,366,486	97.7	100.0	32,488,143,395	96.6	100.0	△ 62,776,909	99.8
現年課税分計	31,926,047,476	99.3	98.5	32,290,908,087	98.2	99.4	△ 364,860,611	98.9
滞納繰越分計	499,319,010	47.7	1.5	197,235,308	26.5	0.6	302,083,702	253.2

当年度の市税収入決算額は 324 億 2,536 万 6,486 円で、前年度と比較し 6,277 万 6,909 円（△ 0.2%）減少している。そのうち、現年課税分は 319 億 2,604 万 7,476 円で、前年度と比較し 3 億 6,486 万 611 円（△ 1.1%）減少しているが、これは主に、市民税が 2 億 4,051

万 4,483 円減少したことによるものである。

滞納繰越分は 4 億 9,931 万 9,010 円で、前年度と比較し 3 億 208 万 3,702 円（153.2%）増加している。これは主に、固定資産税が 2 億 5,799 万 4,438 円増加したことによるものである。

また、現年課税分の収入率は 99.3%、滞納繰越分の収入率は 47.7%で、前年度と比較し現年課税分は 1.1 ポイント、滞納繰越分は 21.2 ポイントそれぞれ上昇し、全体の収入率は 97.7%となり前年度と比較し 1.1 ポイント上昇している。

(イ) 収入未済額及び不納欠損額の状況

収入未済額の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

収入未済額年度比較表

(単位:円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	前年度 対比(%)
	収入未済額	収入未済 率(%)	収入未済額	収入未済 率(%)		
市 民 税	337,543,492	2.3	423,628,134	2.8	△ 86,084,642	79.7
現年課税分	98,778,661	0.7	182,107,017	1.2	△ 83,328,356	54.2
滞納繰越分	238,764,831	59.0	241,521,117	66.7	△ 2,756,286	98.9
固 定 資 産 税	261,904,261	1.8	545,636,657	3.7	△ 283,732,396	48.0
現年課税分	91,439,865	0.7	376,843,449	2.6	△ 285,403,584	24.3
滞納繰越分	170,464,396	31.6	168,793,208	57.9	1,671,188	101.0
軽自動車税	36,813,681	4.5	44,552,633	5.6	△ 7,738,952	82.6
現年課税分	11,549,957	1.5	12,403,368	1.7	△ 853,411	93.1
滞納繰越分	25,263,724	64.8	32,149,265	66.5	△ 6,885,541	78.6
市たばこ税	36,732	0.0	36,732	0.0	0	100.0
現年課税分			36,732	0.0	△ 36,732	皆減
滞納繰越分	36,732	100.0			36,732	皆増
特別土地保有税	6,598,059	94.7	6,969,026	94.0	△ 370,967	94.7
滞納繰越分	6,598,059	94.7	6,969,026	94.0	△ 370,967	94.7
入 湯 税	18,750	0.1	310,380	1.5	△ 291,630	6.0
現年課税分	18,750	0.1			18,750	皆増
滞納繰越分			310,380	84.9	△ 310,380	皆減
都 市 計 画 税	27,303,132	1.9	57,903,944	3.9	△ 30,600,812	47.2
現年課税分	9,326,138	0.7	38,437,371	2.7	△ 29,111,233	24.3
滞納繰越分	17,976,994	31.5	19,466,573	57.8	△ 1,489,579	92.3
合 計	670,218,107	2.0	1,079,037,506	3.2	△ 408,819,399	62.1
現年課税分計	211,113,371	0.7	609,827,937	1.9	△ 398,714,566	34.6
滞納繰越分計	459,104,736	43.8	469,209,569	63.1	△ 10,104,833	97.8

注 収入未済率は、項目ごとの調定額に対する収入未済額の割合。

当年度の収入未済額は、市税全体では6億7,021万8,107円で、前年度と比較し4億881万9,399円(△37.9%)減少している。内訳は、市民税が3億3,754万3,492円で、前年度と比較し8,608万4,642円(△20.3%)、固定資産税が2億6,190万4,261円で、前年度と比較し2億8,373万2,396円(△52.0%)、軽自動車税が3,681万3,681円で、前年度と比較し773万8,952円(△17.4%)、都市計画税が2,730万3,132円で、前年度と比較し



3,060万812円(△52.8%)、特別土地保有税が659万8,059円で、前年度と比較し37万967円(△5.3%)、入湯税が1万8,750円で、前年度と比較し29万1,630円(△94.0%)それぞれ減少しており、市たばこ税は、3万6,732円で、前年度と同額となっている。なお、滞納繰越分が収入未済額の68.5%を占めている。

次に、不納欠損額の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

不納欠損の事由別明細及び年度比較表

(単位：件、円)

区分	不納欠損の事由別分類						令和3年度 合計		令和2年度		比較増減	
	地方税法第15条の7第4項 (執行停止後3年経過)		地方税法第15条の7第5項 (会社倒産等)		地方税法第18条第1項 (時効の完成)		件数	金額	件数	金額	件数	金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額						
市民税	368	41,164,727	51	4,894,525	184	6,380,267	603	52,439,519	557	27,585,742	46	24,853,777
個人												
現年課税分			1	24,174			1	24,174	1	50,872	0	△26,698
滞納繰越分	356	39,907,434	32	2,731,667	162	4,788,646	550	47,427,747	507	22,825,960	43	24,601,787
法人												
現年課税分			3	1,126,800			3	1,126,800	1	25,000	2	1,101,800
滞納繰越分	12	1,257,293	15	1,011,884	22	1,591,621	49	3,860,798	48	4,683,910	1	△823,112
固定資産税	140	14,588,128	141	16,647,391	251	5,762,621	532	36,998,140	782	46,052,784	△250	△9,054,644
個人												
現年課税分			21	6,867,019			21	6,867,019	20	4,434,400	1	2,432,619
滞納繰越分	140	14,588,128	120	9,780,372	251	5,762,621	511	30,131,121	762	41,618,384	△251	△11,487,263
軽自動車税	266	2,508,632	48	350,808	297	1,998,148	611	4,857,588	514	3,544,977	97	1,312,611
個人												
現年課税分			6	54,600			6	54,600	4	24,000	2	30,600
滞納繰越分	266	2,508,632	42	296,208	297	1,998,148	605	4,802,988	510	3,520,977	95	1,282,011
入湯税			1	78,500	3	231,880	4	310,380			4	310,380
個人												
滞納繰越分			1	78,500	3	231,880	4	310,380			4	310,380
都市計画税	(138)	1,524,871	(140)	1,736,577	(250)	611,311	(528)	3,872,759	(779)	5,218,152	(△251)	△1,345,393
個人												
現年課税分			(21)	700,381			(21)	700,381	(20)	452,301	(1)	248,080
滞納繰越分	(138)	1,524,871	(119)	1,036,196	(250)	611,311	(507)	3,172,378	(759)	4,765,851	(△252)	△1,593,473
合計	774	59,786,358	241	23,707,801	735	14,984,227	1,750	98,478,386	1,853	82,401,655	△103	16,076,731
個人												
現年課税分			31	8,772,974			31	8,772,974	26	4,986,573	5	3,786,401
滞納繰越分	774	59,786,358	210	14,934,827	735	14,984,227	1,719	89,705,412	1,827	77,415,082	△108	12,290,330
構成比		60.7%		24.1%		15.2%		100.0%				

注1 ( )の数値は固定資産税(土地・家屋分)と重複するため合計には加えていない。

2 件数は、原則として課税年度及び税目ごとの納税義務者件数である。

不納欠損額は、市税全体では9,847万8,386円で、前年度と比較し1,607万6,731円(19.5%)増加し、件数は1,750件で、前年度と比較し103件(△5.6%)減少している。内訳は、市民税が5,243万9,519円で、前年度と比較し2,485万3,777円(90.1%)、軽自動車税が485万7,588円で、前年度と比較し131万2,611円(37.0%)増加し、入湯税が31万380円で、前年度と比較し皆増している一方で、固定資産税が3,699万8,140円で、前年度と比較し905万4,644円(△19.7%)、都市計画税が387万2,759円で、前年度と比較し134万5,393円(△25.8%)それぞれ減少している。なお、滞納繰越分が不納欠損額の91.1%を占めている。

第2款 地方譲与税

地方譲与税の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	776,730,000	838,078,336	838,078,336	100.0%		
令和2年度	860,030,000	826,086,168	826,086,168	100.0%		
比較増減	△ 83,300,000	11,992,168	11,992,168	0.0P		
前年度対比	90.3%	101.5%	101.5%	-		

収入済額 8億3,807万8,336円は、歳入決算額全体の0.6%を占め、前年度と比較し1,199万2,168円(1.5%)増加している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
地方揮発油譲与税	193,662,000	23.1	188,036,000	22.8	5,626,000	103.0
自動車重量譲与税	553,708,000	66.1	547,077,000	66.2	6,631,000	101.2
特別とん譲与税	31,445,334	3.8	29,121,166	3.5	2,324,168	108.0
森林環境譲与税	59,263,000	7.1	61,852,000	7.5	△ 2,589,000	95.8
地方道路譲与税	2	0.0	2	0.0	0	100.0
合 計	838,078,336	100.0	826,086,168	100.0	11,992,168	101.5

地方揮発油譲与税の決算額は1億9,366万2,000円で、前年度と比較し562万6,000円(3.0%)増加している。

自動車重量譲与税の決算額は5億5,370万8,000円で、前年度と比較し663万1,000円(1.2%)増加している。

特別とん譲与税の決算額は3,144万5,334円で、前年度と比較し232万4,168円(8.0%)増加している。

森林環境譲与税の決算額は5,926万3,000円で、前年度と比較し258万9,000円(△4.2%)減少している。

地方道路譲与税の決算額は2円で、前年度と同額となっている。

### 第3款 利子割交付金

利子割交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	42,632,000	45,582,000	45,582,000	100.0%		
令和2年度	33,369,000	55,922,000	55,922,000	100.0%		
比較増減	9,263,000	△ 10,340,000	△ 10,340,000	0.0P		
前年度対比	127.8%	81.5%	81.5%	-		

収入済額 4,558万2,000円は、前年度と比較し 1,034万円（△ 18.5%）減少している。

### 第4款 配当割交付金

配当割交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	121,285,000	181,290,000	181,290,000	100.0%		
令和2年度	114,990,000	121,570,000	121,570,000	100.0%		
比較増減	6,295,000	59,720,000	59,720,000	0.0P		
前年度対比	105.5%	149.1%	149.1%	-		

収入済額 1億8,129万円は、歳入決算額全体の 0.1%を占め、前年度と比較し 5,972万円（49.1%）増加している。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

株式等譲渡所得割交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	72,448,000	210,659,000	210,659,000	100.0%		
令和2年度	59,547,000	137,176,000	137,176,000	100.0%		
比較増減	12,901,000	73,483,000	73,483,000	0.0P		
前年度対比	121.7%	153.6%	153.6%	-		

収入済額 2億1,065万9,000円は、歳入決算額全体の0.2%を占め、前年度と比較し7,348万3,000円（53.6%）増加している。

第6款 法人事業税交付金

法人事業税交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	317,073,000	519,352,000	519,352,000	100.0%		
令和2年度	247,518,000	268,522,000	268,522,000	100.0%		
比較増減	69,555,000	250,830,000	250,830,000	0.0P		
前年度対比	128.1%	193.4%	193.4%	-		

収入済額 5億1,935万2,000円は、歳入決算額全体の0.4%を占め、前年度と比較し2億5,083万円（93.4%）増加している。

第7款 地方消費税交付金

地方消費税交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	5,652,951,000	6,040,334,000	6,040,334,000	100.0%		
令和2年度	5,694,601,000	5,579,520,000	5,579,520,000	100.0%		
比較増減	△ 41,650,000	460,814,000	460,814,000	0.0P		
前年度対比	99.3%	108.3%	108.3%	-		

収入済額は60億4,033万4,000円で、歳入決算額全体の4.6%を占め、前年度と比較し4億6,081万4,000円（8.3%）増加している。

第8款 ゴルフ場利用税交付金

ゴルフ場利用税交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	36,977,000	46,265,187	46,265,187	100.0%		
令和2年度	39,226,000	38,431,941	38,431,941	100.0%		
比較増減	△ 2,249,000	7,833,246	7,833,246	0.0P		
前年度対比	94.3%	120.4%	120.4%	-		

収入済額4,626万5,187円は、前年度と比較し783万3,246円（20.4%）増加している。

第9款 環境性能割交付金

環境性能割交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	63,201,000	72,523,000	72,523,000	100.0%		
令和2年度	87,148,000	78,083,000	78,083,000	100.0%		
比較増減	△ 23,947,000	△ 5,560,000	△ 5,560,000	0.0P		
前年度対比	72.5%	92.9%	92.9%	-		

収入済額 7,252万3,000円は、歳入決算額全体の0.1%を占め、前年度と比較し556万円(△7.1%)減少している。

第10款 国有提供施設等所在市助成交付金

国有提供施設等所在市助成交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	73,951,000	72,319,000	72,319,000	100.0%		
令和2年度	74,323,000	73,951,000	73,951,000	100.0%		
比較増減	△ 372,000	△ 1,632,000	△ 1,632,000	0.0P		
前年度対比	99.5%	97.8%	97.8%	-		

収入済額 7,231万9,000円は、歳入決算額全体の0.1%を占め、前年度と比較し163万2,000円(△2.2%)減少している。

第 1 1 款 地方特例交付金

地方特例交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和 3 年度	660,466,000	653,528,000	653,528,000	100.0%		
令和 2 年度	246,593,000	251,204,000	251,204,000	100.0%		
比較増減	413,873,000	402,324,000	402,324,000	0.0P		
前年度対比	267.8%	260.2%	260.2%	-		

収入済額 6 億 5,352 万 8,000 円は、歳入決算額全体の 0.5%を占め、前年度と比較し 4 億 232 万 4,000 円（160.2%）増加している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
地方特例交付金	243,702,000	37.3	251,204,000	100.0	△ 7,502,000	97.0
新型コロナウイルス感染症対策 地方税減収補填特別交付金	409,826,000	62.7			409,826,000	皆増
合 計	653,528,000	100.0	251,204,000	100.0	402,324,000	260.2

地方特例交付金の決算額は 2 億 4,370 万 2,000 円で、前年度と比較し 750 万 2,000 円（△ 3.0%）減少している。

新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金は前年度と比較し皆増となっている。

## 第12款 地方交付税

地方交付税の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	28,245,872,000	28,320,906,000	28,320,906,000	100.0%		
令和2年度	25,609,485,000	25,848,963,000	25,848,963,000	100.0%		
比較増減	2,636,387,000	2,471,943,000	2,471,943,000	0.0P		
前年度対比	110.3%	109.6%	109.6%	-		

収入済額 283億2,090万6,000円は、歳入決算額全体の21.8%を占め、前年度と比較し24億7,194万3,000円(9.6%)増加している。これは主に、普通交付税の再算定による16億9,835万円の追加交付によるものである。

## 第13款 交通安全対策特別交付金

交通安全対策特別交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	46,884,000	36,913,000	36,913,000	100.0%		
令和2年度	46,884,000	41,300,000	41,300,000	100.0%		
比較増減	0	△4,387,000	△4,387,000	0.0P		
前年度対比	100.0%	89.4%	89.4%	-		

収入済額は3,691万3,000円で、前年度と比較し438万7,000円(△10.6%)減少している。



第14款 分担金及び負担金

分担金及び負担金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和3年度	573,971,889	594,930,881	558,264,197	93.8%	4,631,490	32,280,854
令和2年度	577,299,474	614,179,991	568,322,601	92.5%	4,457,019	41,400,371
比較増減	△ 3,327,585	△ 19,249,110	△ 10,058,404	1.3P	174,471	△ 9,119,517
前年度対比	99.4%	96.9%	98.2%	-	103.9%	78.0%

収入済額 5億5,826万4,197円は、歳入決算額全体の0.4%を占め、前年度と比較し1,005万8,404円(△1.8%)減少している。

不納欠損額は463万1,490円で、前年度と比較し17万4,471円(3.9%)増加している。不納欠損額は、全て児童福祉費負担金(保育所入所に係る保護者負担金)によるものである。

収入未済額は3,228万854円で、前年度と比較し911万9,517円(△22.0%)減少している。収入未済額の主なものは、児童福祉費負担金(保育料)2,571万6,020円である。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
分 担 金	9,272,490	1.7	18,105,196	3.2	△ 8,832,706	51.2
負 担 金	548,991,707	98.3	550,217,405	96.8	△ 1,225,698	99.8
合 計	558,264,197	100.0	568,322,601	100.0	△ 10,058,404	98.2

分担金の決算額は927万2,490円で、前年度と比較し883万2,706円(△48.8%)減少している。これは主に、総務管理費分担金が584万8,087円皆減したことによるものである。

負担金の決算額は5億4,899万1,707円で、前年度と比較し122万5,698円(△0.2%)減少している。

## 第15款 使用料及び手数料

使用料及び手数料の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

### 歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和3年度	3,324,021,000	3,829,360,860	3,175,368,449	82.9%	2,018,224	652,018,287
令和2年度	3,366,733,000	3,732,771,923	3,051,751,211	81.8%	21,259,046	659,761,666
比較増減	△ 42,712,000	96,588,937	123,617,238	1.1P	△ 19,240,822	△ 7,743,379
前年度対比	98.7%	102.6%	104.1%	-	9.5%	98.8%

収入済額 31億7,536万8,449円は、歳入決算額全体の2.4%を占め、前年度と比較し1億2,361万7,238円（4.1%）増加している。

不納欠損額は201万8,224円で、前年度と比較し1,924万822円（△90.5%）減少している。不納欠損額の主なものは、住宅使用料（市営住宅に係る家賃、駐車場使用料等）166万2,514円である。

収入未済額は6億5,201万8,287円で、前年度と比較し774万3,379円（△1.2%）減少している。当年度の収入未済額の主なものは、住宅使用料6億4,133万5,604円である。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

### 項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
使 用 料	2,234,906,520	70.4	2,096,768,965	68.7	138,137,555	106.6
手 数 料	940,461,929	29.6	954,982,246	31.3	△ 14,520,317	98.5
合 計	3,175,368,449	100.0	3,051,751,211	100.0	123,617,238	104.1

使用料の決算額は22億3,490万6,520円で、前年度と比較し1億3,813万7,555円（6.6%）増加している。

手数料の決算額は9億4,046万1,929円で、前年度と比較し1,452万317円（△1.5%）減少している。

第16款 国庫支出金

国庫支出金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和3年度	34,237,977,754	29,923,490,481	29,923,490,481	100.0%		
令和2年度	51,626,138,317	47,302,305,920	47,302,305,920	100.0%		
比較増減	△ 17,388,160,563	△ 17,378,815,439	△ 17,378,815,439	0.0P		
前年度対比	66.3%	63.3%	63.3%	-		

収入済額 299億2,349万481円は、歳入決算額全体の23.0%を占め、前年度と比較し173億7,881万5,439円(△36.7%)減少している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
国庫負担金	16,262,503,834	54.3	14,919,551,410	31.5	1,342,952,424	109.0
国庫補助金	13,591,588,307	45.4	32,317,306,448	68.3	△ 18,725,718,141	42.1
委託金	69,398,340	0.2	65,448,062	0.1	3,950,278	106.0
合 計	29,923,490,481	100.0	47,302,305,920	100.0	△ 17,378,815,439	63.3

国庫負担金の決算額は162億6,250万3,834円で、前年度と比較し13億4,295万2,424円(9.0%)増加している。これは主に、社会福祉費負担金の障害者自立支援給付費負担金が1億6,543万1,000円、保健衛生費負担金の新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金が12億252万94円増加したことによるものである。

国庫補助金の決算額は135億9,158万8,307円で、前年度と比較し187億2,571万8,141円(△57.9%)減少している。これは主に、児童福祉費補助金の子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金が34億1,450万円、社会福祉費補助金の子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金が24億5,137万6,451円それぞれ皆増し、保健衛生費補助金の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金が15億5,166万9,000円増加したものの、社会福祉費補助金の特別定額給付金給付事業費補助金が258億3,580万円皆減したことによるもので

ある。

委託金の決算額は 6,939 万 8,340 円で、前年度と比較し 395 万 278 円（6.0%）増加している。

### 第 17 款 県支出金

県支出金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和 3 年度	9,940,818,774	8,833,389,679	8,833,389,679	100.0%		
令和 2 年度	8,661,128,986	8,186,565,861	8,186,565,861	100.0%		
比較増減	1,279,689,788	646,823,818	646,823,818	0.0P		
前年度対比	114.8%	107.9%	107.9%	-		

収入済額 88 億 3,338 万 9,679 円は、歳入決算額全体の 6.8%を占め、前年度と比較し 6 億 4,682 万 3,818 円（7.9%）増加している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
県 負 担 金	5,498,530,704	62.2	5,448,676,972	66.6	49,853,732	100.9
県 補 助 金	1,912,800,148	21.7	2,184,201,219	26.7	△ 271,401,071	87.6
委 託 金	1,422,058,827	16.1	553,687,670	6.8	868,371,157	256.8
合 計	8,833,389,679	100.0	8,186,565,861	100.0	646,823,818	107.9

県負担金の決算額は 54 億 9,853 万 704 円で、前年度と比較し 4,985 万 3,732 円（0.9%）増加している。

県補助金の決算額は 19 億 1,280 万 148 円で、前年度と比較し 2 億 7,140 万 1,071 円（△12.4%）減少している。

委託金の決算額は 14 億 2,205 万 8,827 円で、前年度と比較し 8 億 6,837 万 1,157 円（156.8%）増加している。これは主に、宿泊療養事業委託金が 7 億 906 万 5,467 円増加したことによるものである。

第18款 財産収入

財産収入の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和3年度	219,968,000	300,973,700	253,662,976	84.3%		47,310,724
令和2年度	371,516,000	323,693,187	268,664,631	83.0%	5,365,917	49,662,639
比較増減	△ 151,548,000	△ 22,719,487	△ 15,001,655	1.3P	△ 5,365,917	△ 2,351,915
前年度対比	59.2%	93.0%	94.4%	-	皆減	95.3%

収入済額 2億5,366万2,976円は、歳入決算額全体の0.2%を占め、前年度と比較し1,500万1,655円(△5.6%)減少している。

収入未済額は4,731万724円で、前年度と比較し235万1,915円(△4.7%)減少している。収入未済額の主なものは、土地建物貸付収入4,459万8,724円である。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
財産運用収入	102,736,985	40.5	117,179,439	43.6	△ 14,442,454	87.7
財産売払収入	150,925,991	59.5	151,485,192	56.4	△ 559,201	99.6
合 計	253,662,976	100.0	268,664,631	100.0	△ 15,001,655	94.4

財産運用収入の決算額は1億273万6,985円で、前年度と比較し1,444万2,454円(△12.3%)減少している。

財産売払収入の決算額は1億5,092万5,991円で、前年度と比較し55万9,201円(△0.4%)減少している。

第19款 寄附金

寄附金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	665,855,000	543,791,163	543,791,163	100.0%		
令和2年度	578,891,000	571,610,615	571,610,615	100.0%		
比較増減	86,964,000	△ 27,819,452	△ 27,819,452	0.0P		
前年度対比	115.0%	95.1%	95.1%	-		

収入済額 5億4,379万1,163円は、歳入決算額全体の0.4%を占め、前年度と比較し2,781万9,452円（△4.9%）減少している。

第20款 繰入金

繰入金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	1,812,607,000	852,281,235	852,281,235	100.0%		
令和2年度	4,628,261,000	3,435,300,000	3,435,300,000	100.0%		
比較増減	△ 2,815,654,000	△ 2,583,018,765	△ 2,583,018,765	0.0P		
前年度対比	39.2%	24.8%	24.8%	-		

収入済額 8億5,228万1,235円は、歳入決算額全体の0.7%を占め、前年度と比較し25億8,301万8,765円（△75.2%）減少している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
特別会計繰入金	209,281,235	24.6	251,000,000	7.3	△ 41,718,765	83.4
基金繰入金	643,000,000	75.4	3,184,300,000	92.7	△ 2,541,300,000	20.2
合 計	852,281,235	100.0	3,435,300,000	100.0	△ 2,583,018,765	24.8

特別会計繰入金の決算額は 2 億 928 万 1,235 円で、前年度と比較し 4,171 万 8,765 円 (△ 16.6%) 減少している。

基金繰入金の決算額は 6 億 4,300 万円で、前年度と比較し 25 億 4,130 万円 (△ 79.8%) 減少している。

第 2 1 款 繰越金

繰越金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和3年度	2,190,443,977	3,000,178,928	3,000,178,928	100.0%		
令和2年度	2,192,129,962	2,427,748,588	2,427,748,588	100.0%		
比較増減	△ 1,685,985	572,430,340	572,430,340	0.0P		
前年度対比	99.9%	123.6%	123.6%	-		

収入済額 30 億 17 万 8,928 円は、歳入決算額全体の 2.3%を占め、前年度と比較し 5 億 7,243 万 340 円 ( 23.6%) 増加している。

第22款 諸収入

諸収入の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和3年度	5,723,961,000	5,807,987,367	5,117,328,543	88.1%	32,383,527	658,280,517
令和2年度	6,053,185,000	6,384,785,050	5,672,617,249	88.8%	27,237,985	684,951,116
比較増減	△ 329,224,000	△ 576,797,683	△ 555,288,706	△ 0.7P	5,145,542	△ 26,670,599
前年度対比	94.6%	91.0%	90.2%	-	118.9%	96.1%

収入済額 51億1,732万8,543円は、歳入決算額全体の3.9%を占め、前年度と比較し5億5,528万8,706円(△9.8%)減少している。

不納欠損額は3,238万3,527円で、前年度と比較し514万5,542円(18.9%)増加している。不納欠損額の主なものは、生活保護費立替払返納金2,487万3,661円である。

収入未済額は6億5,828万517円で、前年度と比較し2,667万599円(△3.9%)減少している。収入未済額の主なものは、生活保護費立替払返納金1億9,852万3,885円、市税延滞金1億9,047万4,546円、社会福祉費貸付金元利収入1億7,163万1,860円である。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
延滞金、加算金 及び過料	60,720,392	1.2	75,691,617	1.3	△ 14,971,225	80.2
市預金利子	190,951	0.0	227,384	0.0	△ 36,433	84.0
貸付金元利収入	1,978,036,541	38.7	1,888,507,603	33.3	89,528,938	104.7
収益事業収入	1,000,000,000	19.5	1,870,000,000	33.0	△ 870,000,000	53.5
雑 入	2,078,380,659	40.6	1,838,190,645	32.4	240,190,014	113.1
合 計	5,117,328,543	100.0	5,672,617,249	100.0	△ 555,288,706	90.2

延滞金、加算金及び過料の決算額は6,072万392円で、前年度と比較し1,497万1,225円(△19.8%)減少している。

市預金利子の決算額は19万951円で、前年度と比較し3万6,433円(△16.0%)減少し



ている。

貸付金元利収入の決算額は 19 億 7,803 万 6,541 円で、前年度と比較し 8,952 万 8,938 円（4.7%）増加している。

収益事業収入の決算額は 10 億円で、全額がボートレース事業収入であり、前年度と比較し 8 億 7,000 万円（△ 46.5%）減少している。

雑入の決算額は 20 億 7,838 万 659 円で、前年度と比較し 2 億 4,019 万 14 円（13.1%）増加している。これは主に、後期高齢者医療療養給付費負担金返還金が 1 億 8,187 万 1,469 円皆増したことによるものである。

### 第 2 3 款 市債

市債の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収 入 済 額		不納欠損額	収入未済額
			金 額 B	収入率 B/A		
令和 3 年度	11,755,968,000	8,460,768,000	8,460,768,000	100.0%		
令和 2 年度	12,280,015,000	9,266,029,000	9,266,029,000	100.0%		
比較増減	△ 524,047,000	△ 805,261,000	△ 805,261,000	0.0P		
前年度対比	95.7%	91.3%	91.3%	-		

収入済額 84 億 6,076 万 8,000 円は、歳入決算額全体の 6.5%を占め、前年度と比較し 8 億 526 万 1,000 円（△ 8.7%）減少している。これは主に、臨時財政対策債が 9 億 2,405 万 3,000 円増加した一方で、減収補てん債 6 億 3,841 万 4,000 円、特別減収対策債 3 億 6,000 万円、庁舎整備事業債 2 億 3,900 万円がそれぞれ皆減し、下関漁港整備事業債が 3 億 8,040 万円、消防施設整備事業債が 2 億 3,850 万円それぞれ減少したことによるものである。

また、市債の借入及び償還の状況は、次表のとおりである。

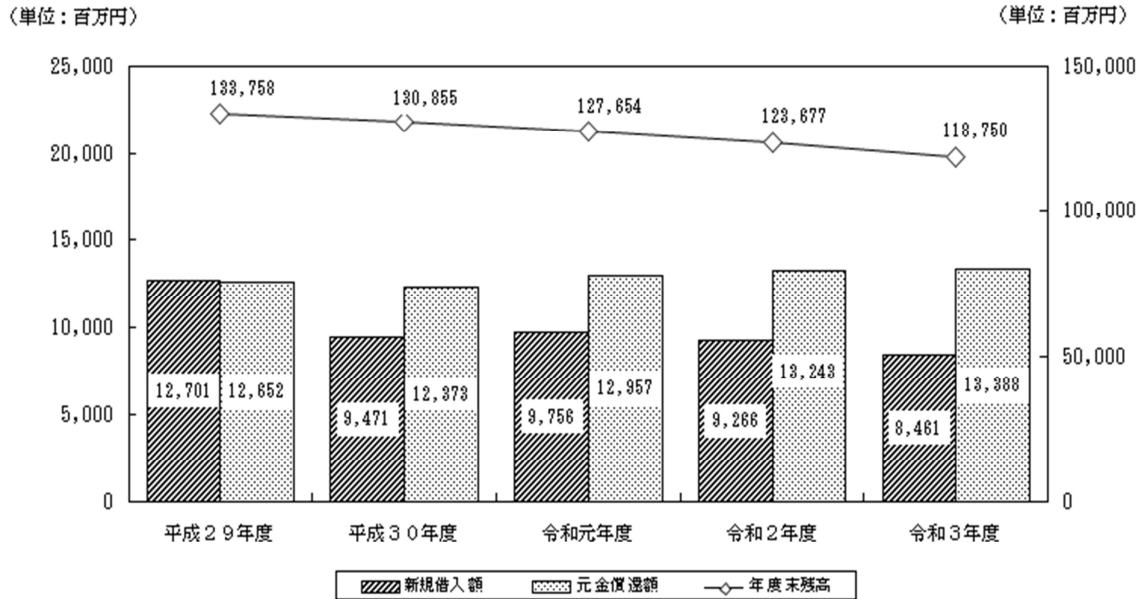
市債の借入及び償還状況表

(単位：円)

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度	平成 3 0 年度	平成 2 9 年度
新規借入額	8,460,768,000	9,266,029,000	9,755,604,000	9,470,679,000	12,701,326,000
元金償還額	13,388,079,224	13,243,071,723	12,956,924,987	12,372,932,967	12,651,966,202
年度末残高	118,749,736,579	123,677,047,803	127,654,090,526	130,855,411,513	133,757,665,480

令和2年度末市債残高は1,236億7,704万7,803円で、当年度の新規借入額は84億6,076万8,000円、元金償還額は133億8,807万9,224円で、当年度末市債残高は1,187億4,973万6,579円となり、前年度と比較し49億2,731万1,224円(△4.0%)減少している。なお、過去5か年度の新規借入額、元金償還額、年度末残高の推移は、次のグラフのとおりである。

新規借入額・元金償還額・年度末残高の推移



次に、新規借入額を借入先別にみると、次表のとおりである。

市債の借入先別状況

区分	令和3年度			令和2年度		
	年 利 率 (%)	借 入 額	構成比 (%)	年 利 率 (%)	借 入 額	構成比 (%)
財 政 融 資 資 金	0.009~0.300	3,522,661,000	41.6	0.002~0.090	4,632,437,000	50.0
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	0.009~0.700	4,598,507,000	54.4	0.002~0.400	4,116,092,000	44.4
日 本 政 策 金 融 公 庫	無 利 子 ~ 0.300	27,200,000	0.3	無 利 子 ~ 0.300	42,500,000	0.5
全 国 市 有 物 件 災 害 共 済 会	0.030~0.100	19,700,000	0.2	0.005	10,300,000	0.1
山 口 銀 行	0.312	209,400,000	2.5	0.158	220,000,000	2.4
西 中 国 信 用 金 庫	0.150	24,400,000	0.3	0.150	177,200,000	1.9
山 口 県 市 町 村 振 興 協 会	0.300	34,500,000	0.4	0.110	67,500,000	0.7
山 口 県 農 業 協 同 組 合	0.400	24,400,000	0.3			
合 計		8,460,768,000	100.0		9,266,029,000	100.0

(3) 歳出

ア 歳出決算の概況

当年度の支出済額は、1,254億5,249万4,297円で、予算現額1,386億9,422万1,394円に対し、執行率は90.5%となっている。

・ 予 算 現 額	1,386億9,422万1,394円
・ 支 出 済 額	1,254億5,249万4,297円
・ 執 行 率	90.5%
・ 翌年度繰越額	65億3,036万6,723円
・ 不 用 額	67億1,136万374円

歳出の決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳 出 決 算 状 況 年 度 比 較 表

(単位：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	前年度 対比(%)	
予 算 現 額	138,694,221,394	155,795,885,739	△ 17,101,664,345	89.0	
支 出 済 額	125,452,494,297	143,559,609,252	△ 18,107,114,955	87.4	
翌 年 度 繰 越 額	継 続 費 通 次 繰 越	1,171,676,580	1,923,600	1,169,752,980	60910.6
	繰 越 明 許 費	5,343,301,143	5,486,455,794	△ 143,154,651	97.4
	事 故 繰 越 し	15,389,000		15,389,000	皆増
不 用 額	6,711,360,374	6,747,897,093	△ 36,536,719	99.5	
執 行 率	90.5%	92.1%	△ 1.6P		

当年度の決算状況を前年度と比較すると、予算現額は171億166万4,345円(△11.0%)、支出済額は181億711万4,955円(△12.6%)それぞれ減少しており、執行率は1.6ポイント低下している。

不用額は3,653万6,719円(△0.5%)減少している。

イ 款別歳出状況

支出済額を款別に前年度と比較すると、次表のとおりである。

款別歳出決算年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減	前年度 対 比 (%)
	支出済額	構成比 (%)	支出済額	構成比 (%)		
議 会 費	544,939,410	0.4	549,736,799	0.4	△ 4,797,389	99.1
総 務 費	13,203,429,625	10.5	11,430,363,912	8.0	1,773,065,713	115.5
民 生 費	52,602,980,304	41.9	72,986,197,349	50.8	△ 20,383,217,045	72.1
衛 生 費	12,740,248,038	10.2	9,360,322,011	6.5	3,379,926,027	136.1
労 働 費	192,612,588	0.2	425,301,497	0.3	△ 232,688,909	45.3
農林水産業費	3,631,581,808	2.9	4,249,471,183	3.0	△ 617,889,375	85.5
商 工 費	5,424,287,083	4.3	5,411,799,339	3.8	12,487,744	100.2
土 木 費	12,098,917,280	9.6	11,786,956,059	8.2	311,961,221	102.6
消 防 費	3,283,089,578	2.6	3,499,646,259	2.4	△ 216,556,681	93.8
教 育 費	7,738,500,126	6.2	9,515,154,288	6.6	△ 1,776,654,162	81.3
災 害 復 旧 費	179,274,241	0.1	541,886,136	0.4	△ 362,611,895	33.1
公 債 費	13,812,634,216	11.0	13,802,774,420	9.6	9,859,796	100.1
合 計	125,452,494,297	100.0	143,559,609,252	100.0	△ 18,107,114,955	87.4

支出済額の内訳は、民生費が 526 億 298 万 304 円で歳出決算額全体に占める構成比は 41.9%と最も高く、次いで、公債費が 138 億 1,263 万 4,216 円（構成比 11.0%）、総務費が 132 億 342 万 9,625 円（構成比 10.5%）、衛生費が 127 億 4,024 万 8,038 円（構成比 10.2%）、土木費が 120 億 9,891 万 7,280 円（構成比 9.6%）、教育費が 77 億 3,850 万 126 円（構成比 6.2%）などとなっている。

前年度と比較し支出済額が増加した主な款及び増加額は、衛生費 33 億 7,992 万 6,027 円（36.1%）、総務費 17 億 7,306 万 5,713 円（15.5%）、土木費 3 億 1,196 万 1,221 円（2.6%）である。

一方、減少した主な款及び減少額は、民生費 203 億 8,321 万 7,045 円 (△ 27.9%)、教育費 17 億 7,665 万 4,162 円 (△ 18.7%)、農林水産業費 6 億 1,788 万 9,375 円 (△ 14.5%)、災害復旧費 3 億 6,261 万 1,895 円 (△ 66.9%)、労働費 2 億 3,268 万 8,909 円 (△ 54.7%)、消防費 2 億 1,655 万 6,681 円 (△ 6.2%) である。

ウ 款別翌年度繰越額状況

款別翌年度繰越額の内訳は、次表のとおりである。

款別翌年度繰越額状況表

(単位：円)

区 分	翌年度繰越額						合 計	
	継続費通次繰越		繰越明許費		事故繰越し		金 額	構成比 (%)
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)		
総 務 費	115,940,000	9.9	161,819,500	3.0			277,759,500	4.3
民 生 費			1,104,057,579	20.7			1,104,057,579	16.9
衛 生 費	642,000,000	54.8	4,245,000	0.1			646,245,000	9.9
農林水産業費			973,536,233	18.2			973,536,233	14.9
商 工 費	45,812,000	3.9	14,268,000	0.3			60,080,000	0.9
土 木 費	72,924,580	6.2	2,847,672,283	53.3			2,920,596,863	44.7
教 育 費	295,000,000	25.2	83,659,900	1.6	15,389,000	100.0	394,048,900	6.0
災 害 復 旧 費			154,042,648	2.9			154,042,648	2.4
合 計	1,171,676,580	100.0	5,343,301,143	100.0	15,389,000	100.0	6,530,366,723	100.0

翌年度繰越額は、土木費が 29 億 2,059 万 6,863 円 (構成比 44.7%)、民生費が 11 億 405 万 7,579 円 (構成比 16.9%)、農林水産業費が 9 億 7,353 万 6,233 円 (構成比 14.9%)、衛生費が 6 億 4,624 万 5,000 円 (構成比 9.9%) などで、合計 65 億 3,036 万 6,723 円である。

エ 不用額状況

不用額は 67 億 1,136 万 374 円で、そのうち（節）で 5,000 万円以上のものは次表のとおりである。

不 用 額 一 覧 表

(単位：円)

款	項	目	節	不用額	不用額が生じた主な理由
総務費	総務管理費	企画費	委託料	93,388,831	ふるさと納税業務等に係る委託料が見込みを下回ったため
	総務管理費	企画費	負担金補助及び交付金	156,954,507	高度無線環境整備推進事業に係る補助金等が見込みを下回ったため
	戸籍住民基本台帳費	戸籍住民基本台帳費	負担金補助及び交付金	103,894,363	個人番号カード関連事務委任交付金の支出が見込みを下回ったため
民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	負担金補助及び交付金	70,016,356	生活困窮者自立支援金支給事業に係る対象世帯数が見込みを下回ったため
	社会福祉費	社会福祉施設費	工事請負費	52,830,000	旧下関市菊川町総合福祉会館の解体工事費が見込みを下回ったため
	社会福祉費	障害者福祉費	扶助費	190,498,087	重度心身障害者医療費が見込みを下回ったため
	社会福祉費	老人福祉費	繰出金	257,762,623	介護保険特別会計等への繰出金が見込みを下回ったため
	児童福祉費	児童措置費	委託料	80,254,107	一時保育サービスの実績等が見込みを下回ったため
	児童福祉費	児童措置費	負担金補助及び交付金	233,467,486	子育て世帯生活支援特別給付金の給付実績等が見込みを下回ったため
	児童福祉費	児童措置費	扶助費	149,582,470	児童手当給付実績等が見込みを下回ったため
	児童福祉費	母子福祉費	扶助費	110,450,187	児童扶養手当給付実績が見込みを下回ったため
	生活保護費	扶助費	扶助費	430,483,103	被保護者数が見込みを下回ったため
衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費	扶助費	53,215,117	不妊治療費が見込みを下回ったため
	保健衛生費	予防費	委託料	505,043,118	予防接種件数が見込みを下回ったため
	保健衛生費	予防費	扶助費	74,512,971	新型コロナウイルス感染症に係る入院患者数が見込みを下回ったため
	病院費	病院費	負担金補助及び交付金	70,462,016	市民病院運営費負担金が見込みを下回ったため
農林水産業費	農業費	農業振興費	負担金補助及び交付金	99,286,474	担い手育成支援事業等が見込みを下回ったため
	水産業費	海岸保全費	工事請負費	113,371,900	宇賀漁港海岸保全施設整備事業の事業費が減額されたため
商工費	商工費	商工業振興費	負担金補助及び交付金	364,490,533	中小企業経営革新事業等において、補助金が見込みを下回ったため
	商工費	商工業振興費	貸付金	780,891,218	各種制度融資の預託金が見込みを下回ったため
	観光費	水族館費	委託料	87,837,859	しものせき水族館指定管理料が見込みを下回ったため
土木費	河川費	河川維持費	工事請負費	86,606,300	河川浚渫工事に係る工事請負費が見込みを下回ったため
教育費	小学校費	学校建設費	工事請負費	79,843,843	国の令和3年度補正予算対応事業を令和4年度当初予算対応としたため
	中学校費	学校建設費	工事請負費	73,996,566	国の令和3年度補正予算対応事業を令和4年度当初予算対応としたため

オ 款別歳出決算状況

款別の歳出決算状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

議会費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	572,910,000	544,939,410	95.1%		27,970,590
令和2年度	574,357,000	549,736,799	95.7%		24,620,201
比較増減	△ 1,447,000	△ 4,797,389	△ 0.6 P		3,350,389
前年度対比	99.7%	99.1%	—		113.6%

議会費における主な支出は、議員報酬、職員人件費、議員共済組合負担金等である。

支出済額 5億4,493万9,410円は、歳出決算額全体の0.4%を占め、前年度と比較し479万7,389円(△0.9%)減少している。これは主に、共済費が516万4,379円減少したことによるものである。

不用額2,797万590円のうち、主なものは、(項)議会費(目)議会費の旅費1,693万1,724円、負担金補助及び交付金686万5,147円である。

第2款 総務費

総務費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	14,171,142,920	13,203,429,625	93.2%	277,759,500	689,953,795
令和2年度	13,240,842,234	11,430,363,912	86.3%	1,071,653,920	738,824,402
比較増減	930,300,686	1,773,065,713	6.9 P	△ 793,894,420	△ 48,870,607
前年度対比	107.0%	115.5%	—	25.9%	93.4%

総務費における主な支出は、職員人件費、基金への積立金等である。

支出済額 132 億 342 万 9,625 円は、歳出決算額全体の 10.5%を占め、前年度と比較し 17 億 7,306 万 5,713 円（15.5%）増加している。

翌年度繰越額 2 億 7,775 万 9,500 円のうち、主なものは（項）総務管理費における高度無線環境整備推進事業 1 億 1,970 万円の繰越明許費、上田中町庁舎解体事業 1 億 1,594 万円の継続費過次繰越である。

不用額 6 億 8,995 万 3,795 円のうち、主なものは、（項）総務管理費（目）企画費の負担金補助及び交付金 1 億 5,695 万 4,507 円、（目）戸籍住民基本台帳費の負担金補助及び交付金 1 億 389 万 4,363 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
総 務 管 理 費	11,073,847,340	83.9	9,305,040,061	81.4	1,768,807,279	119.0
徴 税 費	1,020,577,701	7.7	1,056,740,367	9.2	△ 36,162,666	96.6
戸籍住民基本台帳費	641,381,323	4.9	631,340,580	5.5	10,040,743	101.6
選 挙 費	313,891,816	2.4	177,867,701	1.6	136,024,115	176.5
統 計 調 査 費	56,099,181	0.4	160,517,075	1.4	△ 104,417,894	34.9
監 査 委 員 費	97,632,264	0.7	98,858,128	0.9	△ 1,225,864	98.8
合 計	13,203,429,625	100.0	11,430,363,912	100.0	1,773,065,713	115.5

前年度と比較し、（項）総務管理費が 17 億 6,880 万 7,279 円（19.0%）増加しているが、これは主に、（目）減債基金費の積立金が 12 億 4,510 万 6,497 円、（目）企画費の負担金補助及び交付金が 8 億 6,166 万 9,583 円増加したことによるものである。また、（項）選挙費が 1 億 3,602 万 4,115 円（76.5%）増加しているが、これは主に、（目）市長選挙費が 9,159 万 9,111 円、（目）市議会議員補欠選挙費が 1,932 万 8,187 円それぞれ皆減した一方で、（目）衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費が 9,293 万 7,013 円、（目）県知事選挙費が 8,443 万 7,634 円、参議院議員補欠選挙費が 7,834 万 6,308 円それぞれ皆増したことによるものである。一方、（項）統計調査費が 1 億 441 万 7,894 円（△ 65.1%）減少しているが、これは主に、（目）国勢調査費の報酬が 1 億 43 万 7,425 円皆減したことによるものである。



### 第3款 民生費

民生費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	55,539,407,600	52,602,980,304	94.7%	1,104,057,579	1,832,369,717
令和2年度	74,894,583,000	72,986,197,349	97.5%	1,923,600	1,906,462,051
比較増減	△ 19,355,175,400	△ 20,383,217,045	△ 2.8 P	1,102,133,979	△ 74,092,334
前年度対比	74.2%	72.1%	—	57395.4%	96.1%

民生費における主な支出は、生活保護業務に係る経費、障害者自立支援給付等業務に係る経費、教育・保育給付業務に係る経費、介護保険特別会計介護保険事業勘定繰出金、後期高齢者医療制度に係る負担金、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業に係る経費、臨時特別給付金給付事業に係る経費、国民健康保険特別会計繰出金等である。

支出済額 526億298万304円は、歳出決算額全体の41.9%を占め、前年度と比較し203億8,321万7,045円(△27.9%)減少している。

翌年度繰越額 11億405万7,579円のうち、主なものは、(項)社会福祉費における住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 8億7,888万1,579円、(項)児童福祉費における私立保育所等施設整備費補助金 2億717万6,000円の繰越明許費である。

不用額 18億3,236万9,717円のうち、主なものは、(項)生活保護費(目)扶助費の扶助費 4億3,048万3,103円、(項)社会福祉費(目)老人福祉費の繰出金 2億5,776万2,623円、(項)児童福祉費(目)児童措置費の負担金補助及び交付金 2億3,346万7,486円、(項)社会福祉費(目)障害者福祉費の扶助費 1億9,049万8,087円、(項)児童福祉費(目)児童措置費の扶助費 1億4,958万2,470円、(目)母子福祉費の扶助費 1億1,045万187円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
社 会 福 祉 費	26,521,664,446	50.4	49,073,629,908	67.2	△ 22,551,965,462	54.0
児 童 福 祉 費	19,138,348,938	36.4	16,773,011,922	23.0	2,365,337,016	114.1
生 活 保 護 費	6,942,966,920	13.2	7,139,461,159	9.8	△ 196,494,239	97.2
災 害 救 助 費			94,360	0.0	△ 94,360	皆減
合 計	52,602,980,304	100.0	72,986,197,349	100.0	△ 20,383,217,045	72.1

前年度と比較し、(項)社会福祉費が225億5,196万5,462円(△46.0%)減少しているが、これは主に、(目)臨時特別給付金給付事業費が33億8,581万8,421円皆増した一方で、(目)特別定額給付金給付事業費が259億7,238万7,123円皆減したことによるものである。また、(項)生活保護費が1億9,649万4,239円(△2.8%)減少しているが、これは主に、(目)扶助費の扶助費が1億9,850万1,496円減少したことによるものである。一方、(項)児童福祉費が23億6,533万7,016円(14.1%)増加しているが、これは主に、(目)こども未来基金費の積立金が8億9,995万8,451円減少した一方で、(目)児童措置費の負担金補助及び交付金が32億2,974万8,669円増加したことによるものである。

第4款 衛生費

衛生費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	14,385,448,630	12,740,248,038	88.6%	646,245,000	998,955,592
令和2年度	11,110,221,000	9,360,322,011	84.2%	1,499,623,630	250,275,359
比 較 増 減	3,275,227,630	3,379,926,027	4.4 P	△ 853,378,630	748,680,233
前年度対比	129.5%	136.1%	—	43.1%	399.1%

衛生費における主な支出は、職員人件費、感染症予防業務に係る経費、予防接種業務に係る経費、じん芥処理業務に係る経費、地方独立行政法人下関市立市民病院運營業務に係る運営費負担金、病院事業会計負担金等である。

支出済額 127 億 4,024 万 8,038 円は、歳出決算額全体の 10.2%を占め、前年度と比較し 33 億 7,992 万 6,027 円（36.1%）増加している。

翌年度繰越額 6 億 4,624 万 5,000 円のうち、主なものは、（項）清掃費のリサイクルプラザ基幹的設備改良事業 6 億 4,200 万円の継続費繰越である。

不用額 9 億 9,895 万 5,592 円のうち、主なものは、（項）保健衛生費（目）予防費の委託料 5 億 504 万 3,118 円、扶助費 7,451 万 2,971 円、（項）病院費（目）病院費の負担金補助及び交付金 7,046 万 2,016 円、（項）保健衛生費（目）保健衛生総務費の扶助費 5,321 万 5,117 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

#### 項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
保 健 衛 生 費	7,027,746,341	55.2	3,438,208,206	36.7	3,589,538,135	204.4
病 院 費	1,123,829,321	8.8	1,262,212,268	13.5	△ 138,382,947	89.0
清 掃 費	4,511,897,006	35.4	4,571,609,853	48.8	△ 59,712,847	98.7
上 水 道 費	76,775,370	0.6	88,291,684	0.9	△ 11,516,314	87.0
合 計	12,740,248,038	100.0	9,360,322,011	100.0	3,379,926,027	136.1

前年度と比較し、（項）保健衛生費が 35 億 8,953 万 8,135 円（104.4%）増加しているが、これは主に、（目）予防費の委託料が 29 億 2,852 万 4,982 円、（目）保健衛生総務費の委託料が 2 億 1,549 万 390 円それぞれ増加したことによるものである。一方、（項）病院費が 1 億 3,838 万 2,947 円（△ 11.0%）減少しているが、これは主に、（目）病院費の負担金補助及び交付金が 1 億 3,838 万 305 円減少したことによるものである。また、（項）清掃費が 5,971 万 2,847 円（△ 1.3%）減少しているが、これは主に、（目）じん芥処理費の工事請負費が 5,762 万 4,600 円皆減したことによるものである。

## 第5款 労働費

労働費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	220,731,000	192,612,588	87.3%		28,118,412
令和2年度	781,623,000	425,301,497	54.4%	20,000,000	336,321,503
比較増減	△ 560,892,000	△ 232,688,909	32.9 P	△ 20,000,000	△ 308,203,091
前年度対比	28.2%	45.3%	—	皆減	8.4%

労働費における主な支出は、勤労福祉会館管理運営業務に係る経費、雇用対策に係る経費、工事請負費等である。

支出済額 1億9,261万2,588円は、歳出決算額全体の0.2%を占め、前年度と比較し2億3,268万8,909円(△54.7%)減少している。これは主に、(項)労働諸費(目)雇用対策費の負担金補助及び交付金が1億2,173万1,410円、(目)労働福祉施設費の工事請負費が8,848万8,600円それぞれ減少したことによるものである。

不用額2,811万8,412円のうち、主なものは、(項)労働諸費(目)労働福祉施設費の工事請負費1,313万2,846円、(目)雇用対策費の負担金補助及び交付金1,077万1,745円である。

## 第6款 農林水産業費

農林水産業費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	4,955,048,104	3,631,581,808	73.3%	973,536,233	349,930,063
令和2年度	5,001,435,537	4,249,471,183	85.0%	352,557,104	399,407,250
比較増減	△ 46,387,433	△ 617,889,375	△ 11.7 P	620,979,129	△ 49,477,187
前年度対比	99.1%	85.5%	—	276.1%	87.6%

農林水産業費における主な支出は、職員人件費、農業振興に係る補助金、水産業における金融対策に係る経費等である。

支出済額 36 億 3,158 万 1,808 円は、歳出決算額全体の 2.9%を占め、前年度と比較し 6 億 1,788 万 9,375 円 (△ 14.5%) 減少している。

翌年度繰越額 9 億 7,353 万 6,233 円のうち、主なものは、(項) 農業費の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 5 億 6,173 万 8,000 円、(項) 水産業費の下関漁港整備事業 1 億 3,319 万 9,923 円、(項) 農業費の農業競争力強化基盤整備事業 1 億 1,195 万 2,900 円の繰越明許費である。

不用額 3 億 4,993 万 63 円のうち、主なものは、(項) 水産業費(目) 海岸保全費の工事請負費 1 億 1,337 万 1,900 円、(項) 農業費(目) 農業振興費の負担金補助及び交付金 9,928 万 6,474 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
農 業 費	2,078,305,189	57.2	2,092,899,852	49.3	△ 14,594,663	99.3
林 業 費	337,452,079	9.3	407,230,151	9.6	△ 69,778,072	82.9
水 産 業 費	1,215,824,540	33.5	1,749,341,180	41.2	△ 533,516,640	69.5
合 計	3,631,581,808	100.0	4,249,471,183	100.0	△ 617,889,375	85.5

前年度と比較し、(項) 水産業費が 5 億 3,351 万 6,640 円 (△ 30.5%) 減少しているが、これは主に、(目) 水産業振興費の負担金補助及び交付金が 5 億 2,605 万 4,922 円減少したことによるものである。また、(項) 林業費が 6,977 万 8,072 円 (△ 17.1%) 減少しているが、これは主に、(目) 造林費の工事請負費が 4,040 万 7,500 円、委託料が 2,958 万 9,450 円減少したことによるものである。

## 第7款 商工費

商工費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	6,852,751,460	5,424,287,083	79.2%	60,080,000	1,368,384,377
令和2年度	7,156,997,000	5,411,799,339	75.6%	854,179,460	891,018,201
比較増減	△ 304,245,540	12,487,744	3.6 P	△ 794,099,460	477,366,176
前年度対比	95.7%	100.2%	—	7.0%	153.6%

商工費における主な支出は、中小企業等に対する金融対策業務に係る経費、水族館運営業務に係る経費、職員人件費等である。

支出済額 54億2,428万7,083円は、歳出決算額全体の4.3%を占め、前年度と比較し1,248万7,744円（0.2%）増加している。

翌年度繰越額6,008万円の内訳は、（項）観光費の道の駅北浦街道豊北機能向上改修事業4,581万2,000円の継続費逡次繰越、（項）観光費の海響館前駐車場整備事業1,426万8,000円の繰越明許費である。

不用額13億6,838万4,377円のうち、主なものは、（項）商工費（目）商工業振興費の貸付金7億8,089万1,218円、負担金補助及び交付金3億6,449万533円、（項）観光費（目）水族館費の委託料8,783万7,859円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
商 工 費	3,369,385,189	62.1	3,137,361,276	58.0	232,023,913	107.4
観 光 費	2,054,901,894	37.9	2,274,438,063	42.0	△ 219,536,169	90.3
合 計	5,424,287,083	100.0	5,411,799,339	100.0	12,487,744	100.2

前年度と比較し、（項）商工費が2億3,202万3,913円（7.4%）増加しているが、これは主に、（目）商工業振興費において、負担金補助及び交付金が1億7,769万4,869円、貸

付金が 9,009 万円増加したことによるものである。一方、(項) 観光費が 2 億 1,953 万 6,169 円 (△ 9.7%) 減少しているが、これは主に、(目) 観光施設費において、負担金補助及び交付金のうち下関市指定管理者事業継続支援金が 1 億 9,730 万円皆減したことによるものである。

## 第 8 款 土木費

土木費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和 3 年度	15,601,483,840	12,098,917,280	77.5 %	2,920,596,863	581,969,697
令和 2 年度	13,990,370,707	11,786,956,059	84.3 %	1,225,982,840	977,431,808
比較増減	1,611,113,133	311,961,221	△ 6.8 P	1,694,614,023	△ 395,462,111
前年度対比	111.5%	102.6%	—	238.2%	59.5%

土木費における主な支出は、公共下水道事業会計補助金、道路橋りょう整備に係る経費、港湾特別会計繰出金等である。

支出済額 120 億 9,891 万 7,280 円は、歳出決算額全体の 9.6% を占め、前年度と比較し 3 億 1,196 万 1,221 円 (2.6%) 増加している。

翌年度繰越額 29 億 2,059 万 6,863 円のうち、主なものは、(項) 都市計画費の新総合体育館整備事業 14 億 783 万 1,100 円、(項) 住宅費の白雲台団地建替事業(1期) 4 億 7,252 万 8,700 円、(項) 都市計画費の街路整備事業 2 億 5,241 万 6,000 円、(項) 道路橋りょう費の道路新設改良事業 1 億 7,577 万 9,100 円、(項) 都市計画費の乃木浜総合公園 2 期整備事業 1 億 4,327 万 7,000 円の繰越明許費である。

不用額 5 億 8,196 万 9,697 円のうち、主なものは、(項) 河川費(目) 河川維持費の工事請負費 8,860 万 6,300 円、(項) 道路橋りょう費(目) 道路新設改良費の工事請負費 3,991 万 4,484 円、(項) 都市計画費(目) 街路事業費の負担金補助及び交付金 3,049 万 7,339 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
土 木 管 理 費	353,087,906	2.9	350,507,105	3.0	2,580,801	100.7
道 路 橋 り ょ う 費	2,236,273,706	18.5	2,291,293,195	19.4	△ 55,019,489	97.6
河 川 費	716,979,685	5.9	661,190,992	5.6	55,788,693	108.4
港 湾 費	1,949,981,370	16.1	2,145,716,190	18.2	△ 195,734,820	90.9
都 市 計 画 費	3,109,461,758	25.7	2,705,929,626	23.0	403,532,132	114.9
下 水 道 費	2,333,704,299	19.3	2,322,058,948	19.7	11,645,351	100.5
住 宅 費	1,399,428,556	11.6	1,310,260,003	11.1	89,168,553	106.8
合 計	12,098,917,280	100.0	11,786,956,059	100.0	311,961,221	102.6

前年度と比較し、(項)都市計画費が4億353万2,132円(14.9%)増加しているが、これは主に、(目)街路事業費の委託料が3億5,861万7,090円、(目)公園費の公有財産購入費が2億3,033万円2,800円それぞれ増加したことによるものである。一方、(項)港湾費が1億9,573万4,820円(△9.1%)減少しているが、これは(目)港湾費の繰出金が1億9,447万920円減少したことによるものである。

第9款 消防費

消防費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	3,340,638,420	3,283,089,578	98.3%		57,548,842
令和2年度	3,698,307,000	3,499,646,259	94.6%	59,463,420	139,197,321
比 較 増 減	△ 357,668,580	△ 216,556,681	3.7 P	△ 59,463,420	△ 81,648,479
前年度対比	90.3%	93.8%	—	皆減	41.3%



消防費における主な支出は、職員人件費、消防施設に係る経費等である。

支出済額 32 億 8,308 万 9,578 円は、歳出決算額全体の 2.6%を占め、前年度と比較し 2 億 1,655 万 6,681 円 (△ 6.2%) 減少している。

不用額 5,754 万 8,842 円のうち、主なものは、(項) 消防費 (目) 常備消防費の職員手当等 2,051 万 9,819 円、(目) 消防施設費の工事請負費 1,464 万 1,500 円である。

## 第 10 款 教育費

教育費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳 出 決 算 状 況 年 度 比 較 表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	8,724,063,920	7,738,500,126	88.7%	394,048,900	591,514,894
令和2年度	10,651,340,000	9,515,154,288	89.3%	214,036,920	922,148,792
比較増減	△ 1,927,276,080	△ 1,776,654,162	△ 0.6 P	180,011,980	△ 330,633,898
前年度対比	81.9%	81.3%	—	184.1%	64.1%

教育費における主な支出は、職員人件費、保健体育に係る経費、小中学校の管理運営に係る経費等である。

支出済額 77 億 3,850 万 126 円は、歳出決算額全体の 6.2%を占め、前年度と比較し 17 億 7,665 万 4,162 円 (△ 18.7%) 減少している。

翌年度繰越額 3 億 9,404 万 8,900 円のうち、主なものは、(項) 小学校費の学校トイレ快適化事業 1 億 6,070 万円、(項) 中学校費の学校トイレ快適化事業 1 億 3,430 万円の継続費通次繰越である。

不用額 5 億 9,151 万 4,894 円のうち、主なものは、(項) 小学校費 (目) 学校建設費の工事請負費 7,984 万 3,843 円、(項) 中学校費 (目) 学校建設費の工事請負費 7,399 万 6,566 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
教 育 総 務 費	1,008,579,503	13.0	985,542,561	10.4	23,036,942	102.3
小 学 校 費	1,274,588,689	16.5	2,664,029,971	28.0	△ 1,389,441,282	47.8
中 学 校 費	732,976,158	9.5	1,275,910,804	13.4	△ 542,934,646	57.4
高 等 学 校 費	492,164,346	6.4	603,105,445	6.3	△ 110,941,099	81.6
大 学 費	309,141,993	4.0	239,183,442	2.5	69,958,551	129.2
社 会 教 育 費	2,013,673,203	26.0	1,782,281,472	18.7	231,391,731	113.0
保 健 体 育 費	1,907,376,234	24.6	1,965,100,593	20.7	△ 57,724,359	97.1
合 計	7,738,500,126	100.0	9,515,154,288	100.0	△ 1,776,654,162	81.3

前年度と比較し、(項)小学校費が13億8,944万1,282円(△52.2%)減少しているが、これは主に、(目)教育振興費の備品購入費が6億5,889万7,417円、委託料が1億4,957万4,260円、需用費が1億1,969万9,609円それぞれ減少したこと、コンピュータ整備事業に係る工事請負費が3億7,147万3,300円皆減したことによるものである。また、(項)中学校費が5億4,293万4,646円(△42.6%)減少しているが、これは主に、(目)教育振興費の備品購入費が3億1,345万8,986円減少し、コンピュータ整備事業に係る工事請負費が2億1,374万7,600円皆減したことによるものである。一方、(項)社会教育費が2億3,139万1,731円(13.0%)増加しているが、これは主に、(目)生涯学習施設費の生涯学習施設改修事業に係る工事請負費が1億3,466万6,400円、(目)公民館費の工事請負費が3,241万4,800円それぞれ皆増し、(目)図書館費の使用料及び賃借料が2,692万4,973円、備品購入費が2,100万421円それぞれ増加したことによるものである。

第11款 災害復旧費

災害復旧費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	417,276,500	179,274,241	43.0%	154,042,648	83,959,611
令和2年度	799,580,261	541,886,136	67.8%	188,958,500	68,735,625
比較増減	△ 382,303,761	△ 362,611,895	△ 24.8 P	△ 34,915,852	15,223,986
前年度対比	52.2%	33.1%	—	81.5%	122.1%

支出済額 1 億 7,927 万 4,241 円は、歳出決算額全体の 0.1%を占め、前年度と比較し 3 億 6,261 万 1,895 円 (△ 66.9%) 減少している。

翌年度繰越額 1 億 5,404 万 2,648 円のうち、主なものは、(項) 土木施設災害復旧費における土木施設災害復旧事業 1 億 1,712 万 2,226 円の繰越明許費である。

不用額 8,395 万 9,611 円のうち、主なものは、(項) 土木施設災害復旧費 (目) 補助災害復旧費の工事請負費 3,388 万 6,625 円、(目) 一般災害復旧費の工事請負費 3,192 万 3,875 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
土木施設災害復旧費	160,139,606	89.3	476,460,581	87.9	△ 316,320,975	33.6
農林水産施設災害復旧費	19,134,635	10.7	62,532,555	11.5	△ 43,397,920	30.6
その他公共施設公用施設 災 害 復 旧 費			2,893,000	0.5	△ 2,893,000	皆減
合 計	179,274,241	100.0	541,886,136	100.0	△ 362,611,895	33.1

前年度と比較し、(項) 土木施設災害復旧費が 3 億 1,632 万 975 円 (△ 66.4%) 減少しているが、これは主に、(目) 補助災害復旧費の工事請負費が 2 億 470 万 8,138 円、(目) 一般災害復旧費の工事請負費が 9,834 万 7,762 円それぞれ減少したことによるものである。また、(項) 農林水産施設災害復旧費が 4,339 万 7,920 円 (△ 69.4%) 減少しているが、これは主に、(目) 農業用施設災害復旧費の工事請負費が 4,129 万 9,000 円減少したことによるものである。

## 第 12 款 公債費

公債費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支出済額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和3年度	13,818,137,000	13,812,634,216	100.0%		5,502,784
令和2年度	13,807,376,000	13,802,774,420	100.0%		4,601,580
比較増減	10,761,000	9,859,796	0.0 P		901,204
前年度対比	100.1%	100.1%	—		119.6%

支出済額 138億1,263万4,216円は、歳出決算額全体の11.0%を占め、前年度と比較し985万9,796円（0.1%）増加している。

不用額550万2,784円のうち、主なものは、（項）公債費（目）利子の償還金利子及び割引料492万9,579円である。

第13款 予備費

予備費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予 算 現 額				不用額
	当初予算額 A	補正予算額 B	充 用 額 C	計 A+B-C	
令和3年度	100,000,000		4,818,000	95,182,000	95,182,000
令和2年度	100,000,000		11,147,000	88,853,000	88,853,000
比較増減	0		△6,329,000	6,329,000	6,329,000
前年度対比	100.0%		43.2%	107.1%	107.1%

予備費充用額481万8,000円は、（款）災害復旧費（項）農林水産施設災害復旧費（目）農業用施設災害復旧費の測量設計業務に係る委託料である。